

第4期地域福祉計画策定のためのワークショップ 発表内容

日時 令和3年6月20日（日） 午前10時30分から午後0時30分まで

場所 守山市立図書館 集会室

- テーマ
1. 守山市の良いところ。
 2. 今後の心配や不安に思っていること。
 3. 今後の心配や不安を安心に変えるにはどうすれば良いとおもいますか。

■発表内容

【ホタルグループ】

テーマ① 守山市の良いところ

ハード面 舗道整備、交通渋滞が少ない、文化施設が多い、学校が多い、市内全域自転車で移動できるコンパクトさ（公共面）

クリニック・医療機関が充実、商業施設も充実、有名なお菓子のお店がある、おしゃれなカフェが多い（民間）

京都・大阪に近くて便利、都心部へのアクセス良い

自然 自然豊か（ホタル・お花）田んぼが美しい、琵琶湖に近い、景観が良い

コミュニケーション 人情・懐の深い人が多い、自治会活動が活発・出番がまわってくる、信仰厚い、人が優しい、コミュニケーションが保たれている、自衛消防組織がしっかりしている

歴史 伊勢など遺跡がある、固有の郷土史が豊か

安心・安全 治安が良い、災害が少ない、福祉のまち
以上から、総合的に考えて人口の増加につながっている。

テーマ② 今後の心配や不安に思っていること

公共交通 駅周辺とその他の地域との格差を感じる（バスや公共施設等）、災害時の避難経路、免許証を返納した後の移動手段が心配

今の心配 ご近所と助け合うという関係までではない、治安に不安を感じる場所はある（アルバイト先での経験）、自治会が何をしているか知らない、参加やボランティアについて何かしたくてもどうしたら良いか分からない、祭りがコロナ禍で減ったことや世代間で固まっていて交流が少ない（高齢者と若年層、新住民と旧住民・施設と地域）、今後就職や結婚等で守山を離れたらまちとどう関わるか、市内のヤングケアラーがいるのか心配、あいさつが不足、施設を退所した18歳以上の居場所が少ない、自分が突然怒り出す人にならないか心配、子どものネグレクトが起こっていないか心配

将来の心配 入院や介護、洗濯や買物、要介護にならないか心配、住宅ローンと子どもの教育費は終わったが老後の生活資金が心配、年金生活に入ったら所得税・住民税いくら引かれるか心配、会社員を退職し年金になった途端に介護保険料がいきなり上がった、自宅内の終活（整理）

歴史 文化・歴史の体系化ができていない、全体の流れの中の位置づけ

テーマ③ 今後の心配や不安を安心に変えるにはどうしたらいいか？

地域 施設から地域福祉へ、住み慣れたところで過ごしたい、習うより慣れよ、シニア5年生卒業後も就労したい、健康ウォーキングや良い食生活を習慣に、できることを続ける（NPO法人の正会員）

自治会 転入者へのアプローチ、必要な組織である、横のつながり、自治会の活動を広報でPR、自治会と子ども会をまとめて、働き方も多様化していて土日の参加も難しい人がある

情報発信 安心・安全メールのような一方通行の軽い発信がよい、時代にあったものを、ホームページは見に行かない、SNSは匿名性があるので安全性に不安

【メロングループ】

テーマ① 守山市の良いところ

便利! 道路が整備されている、生活する上で不足するものがない、住みやすい、通勤・買物便利

自然豊か・環境が良い! ホタル、夜が静か、のどか、ごちゃごちゃしていない、落ち着いた雰囲気、空気が澄んでいる

“ひと”が良い! 人づきあいも含めのどかでのんびりしている、新旧住民がまじっている、良識、自治会・地域が自立している、ボランティアの方々

地理的に優位 隣接している市が近い、県の中央部に位置

医療環境が整っている 医療の充実

その他 災害が少ない、

テーマ② 今後の心配や不安に思っていること

- ・役所にしっかりしてほしい（自治会に頼りすぎている）
- ・自治会の行事が多い、若い世代が参加しづらい、次の世代が引き継げるのか不安、担い手不足
- ・高齢者が増えている、少子高齢化といわれているが高齢者の立ち位置 高齢者は「問題」なのか？
- ・目玉の学校がない、学生がいない
- ・駅付近に目玉施設がない、駐車場がない、徒歩は遠い
- ・人間関係の希薄さ
- ・支援の子の選択が狭い、自立・自律に向けた仕組みが十分ではない

テーマ③ 今後の心配や不安を安心に変えるにはどうしたらいいか？

「世代の垣根を超えた知る機会の提供と見える化！」

- ・地域活動の仕事はICTの活用や棚卸を行う（改革の目線、負担軽減）、地域活動の核となる人材の育成、ワークショップの開催、活動している人は義務感や使命感や生きがいになっている
- ・地域活動、自治会、子ども会はそんなに大変じゃないことを知ってもらう、自分のスキルにもつながる、“見える化”をして若い人の不安を解消する、自然と関心を持てるような環境づくり、知

れば関心も持てる

- ・高齢者が活躍できるように、まかせきりにならないように
- ・多くの人が1人に関わる、自立・自律に向けた仕組みについてはつながり続ける使えるツールを活用して地域みんなで支える、誰かにまかせるではない